

「展示グラフィック」研修会受講者募集

【ねらい】

最近ではポスター、チラシ等広報物を予算の関係から自分たちで行なうことが多くなっています。今回は視覚伝達効果が高い広報物を制作するための「キャッチコピー」「文字の配置・大きさ・フォント」「配色」「紙面構成」などについて、講義、グループワークを通じて学びます。



【講師】

熊谷 淳一 Junichi Kumagai
(株式会社ノイエ 代表取締役)

開催日：平成 29 年 8 月 21 日(月)

開催場所：北谷町役場レセプションホール(沖縄県中頭郡北谷町)

【定員】

50名

(応募者多数の場合は
抽選)

【対象】

広報物制作に悩む博物館・
図書館・公民館・学校関係
者、学生等

【受講費】

無料

●平成 29 年 8 月 21 日(月)

10:10 受付

10:30 自己紹介、「展示グラフィック」の悩みの共有

11:00 グループワーク 1「博物館・図書館等のチラシデザインの相互評価」

11:25 講義「チラシづくりの基礎」<チラシ制作の 4 つの重要要素>

12:10 昼食

13:00 グループワーク 2「チラシの改善点を話し合う」

ココいいね【I like】、ココはこうかな【I wish】というポイントを検証する

13:15 グループ発表「チラシの改善点について説明する」

14:00 講義 2「チラシデザインとキャッチコピーの基本技術」

14:50 休憩

15:05 講義 3「パネル制作の基本技術」

15:55 休憩

16:05 演習「熊谷先生に何でも相談してみよう」

16:35 ふりかえり「今日は意味のある時間になりましたか」

17:00 終了

17:45 情報交換会(もう少し熊谷先生と話してみよう、自由参加、会費制)

申込みは裏面へ

締切：7 月 24 日(月)



主催：ふくおか博物館人材育成事業実行委員会

(九州産業大学美術館,九州大学総合研究博物館,福岡市博物館,福岡市美術館,海の中道海洋生態
科学館,田川市石炭・歴史博物館,直方谷尾美術館) 後援：沖縄県博物館協会(申請中)

▶「展示グラフィック【北谷町役場】」お申込み方法

必要事項を記入の上、メールにてお申し込みください。

●あて先：museum03@ip.kyusan-u.ac.jp

●件名：展示グラフィック

●内容：①氏名（ふりがな）②所属③職名④勤続年数

⑤勤務形態（正規・非正規）⑥研修会に期待すること（講師に一言）

▶締切日：平成29年7月24日（月）

◇研修会の趣旨

2020年東京五輪・パラリンピック大会に向け、文化庁は2012年のロンドン大会の18万件を上回る文化プログラム20万件の実施を目標としています。この20万件という数字を達成していくために、開催地東京だけではなく、九州にある地域博物館もその実施拠点となります。

本事業では地域博物館が有する博物館資料を活かした文化プログラム開発に向けた「守る技術（保存・修復）」「調べる技術（調査研究）」「見せる技術（展示）」「伝える技術（教育普及）」「活かす技術（運営）」が修得できる学芸員技術研修会を開催し、研修後の展覧会や教育プログラムで学芸員がどのように変容していくかを追跡調査しながら、地域毎の博物館創造活動人材育成モデルの構築を目指します。

◇研修会の特徴

- ①現職学芸員のニーズに沿った研修内容です。
- ②講師陣が多岐で、博物館学の今を知ることができます。
- ③研修会は自由選択、1講座でも受講できます
- ④研修会は九州・沖縄8県で開催します。
- ⑤グループワークが多いので、館種を越えた人的ネットワークができます。

◇平成29年度研修会の日程【(展示グラフィック)以外の研修会】

日程	開催場所	研修項目	講師
7月24日(月)	佐賀大学	著作権	福井 健策 (弁護士、日本大学芸術学部客員教授)
9月20日(水)	長崎歴史文化博物館	資料保存	木川 りか (九州国立博物館博物館博物館科学課長)
11月29日(水)	大分市美術館	アート教育	齋 正弘 (元宮城県美術館教育普及部長)
1月30日(火)	熊本市現代美術館	ユニバーサル・ミュージアム	広瀬 浩二郎 (国立民族学博物館准教授)
調整中	福岡県	文化財梱包技術	ヤマトロジステックス (株) 職員
調整中	鹿児島県	展示制作	洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館特任教授)
調整中	宮崎県	照明技術	藤原 工 (株式会社灯工舎代表取締役)

◇問合せ先

ふくおか博物館人材育成事業実行委員会事務局

緒方 泉 (事務局長、九州産業大学美術館教授)

museum03@ip.kyusan-u.ac.jp